※令和３年度以前入学生用

学校番号	２０１

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	フードデザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「フードデザイン」　（実教出版）						
副教材等	生活学Ｎａｖｉ　２０２２　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

食事と栄養・食品・食生活の安全・衛生面などの知識を身につけ、健康を考えた食事計画ができるようになりましょう。食生活の変化に対応するため現状を把握し課題を見つけ、自分で調べたり、ワークショップを通して主体的に考え、自分の意見を論理的に他者に伝えられる力を養ってください。実践的・体験的な学習から、確かな技術を身につけましょう。学んだことを自分の生活の中で積極的に実践して下さい。

２　学習の到達目標

家庭や地域、および社会の中で充実した食生活を送るための知識・技術を取得する。多様化する食環境の中で課題を見つけ、問題解決策を考える力や自分や家族の健康を考慮し「食」をデザインすることができる力を養う。家庭生活全般にわたって、将来につながる技術・技能の習得を目指す。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	家庭・地域・および社会の中で「食」について理解を深めていくと共に興味関心をもって主体的に課題に取り組んでいる。	食生活についての全般的な課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考する。他者の意見を聞いたり自らの意見を伝える。	食生活を中心に基礎的・基本的な技術を身につけた上で、さらに高度な技術・技能の習得を目指す。	食生活に関する課題に関心を持ち、内容を理解し、主体的・意欲的に解決するための知識・技術を身につけている
評価方法	・授業態度 ・ワークシート ・提出課題 ・調理記録 ・振り返り	・授業態度 ・発表内容 ・ワークシート ・振り返りシート	・授業態度 ・実験・実習 ・制作品 ・実習レポート ・発表内容	・ワークシート ・提出課題 ・振り返りシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	食生活と健康・栄養素の働き・食品の特徴・調理実習	①　食事の意義と役割 ②　食を取りまく現状 ③　栄養素の働き ④　調理の基本	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:①食事の役割について理解しようとしている。②環境保全について私たちにできることを理解し、行動しようとしている。③栄養素について理解しようとしている。 b:④食事バランスガイドと自分の食生活と結び付けて考えることができる。 c:①②食生活の変化をグラフから読み取れる。③④実習や実験と結び付けて知識を生かそうとしている。 d:①②様々な食事形態が理解できる。環境保全に関する語句を理解している。③栄養素の役割・種類が理解できる。④調理過程ごとに調理目的があることを理解している。	・授業態度 課題レポート 発表・実験・実習
2学期	食品の特徴・食事計画・・調理と献立・調理実習	①　食品の特徴と表示 ②　食事摂取基準と食事計画 ③　献立作成 ④　料理様式	○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:①食品の特徴とその調理性・加工について理解しようとしている。②③家族のために楽しい食卓を創造して家族のきずなを深めることに意欲的である。④各様式の献立や作法について興味を持ちその内容を理解している。 b:③家族を考慮した食事計画や献立作成を班や個人でまとめ発表し評価する。 c:①②③④実習や実験と結びつけて知識を生かそうとしている。 d:①②食品の特徴を理解し、食事摂取基準が健康維持・増進・生活習慣病の予防を目的としていることを理解している。③献立作成のための注意点を理解している。④料理様式について興味を持ちその内容を理解している。	授業態度 課題レポート 発表・実験・実習

※令和３年度以前入学生用

３学期	料理様式・食育	①　テーブルコーディネート ②　食育	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:①食事を心豊かにおいしく食べるため工夫している。②食育推進にあっての目標値と現状値に関心を持っている。 b:①食べる人に配慮したサービスの方法が判断できる。②食育推進目標値と現在値の考察や問題点を考えることができる。 c：①和食・洋食のﾃｰﾌﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄを考えるとき前向きに工夫できる。②近年の食生活の実態を自ら調査したり情報を整理することができる。 d：①季節感を出す食材や食卓のｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ、調理法があることを理解できる。②食育基本法などのほうりつの目的や概要を理解している。	授業態度 課題レポート 発表・実験・実習

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。